

**腹腔鏡下およびロボット支援下幽門側胃切除症例における適切な再建方法の選択について****1. 研究の対象**

2011年10月から2028年3月までに当院で施行するL/RDG症例を対象とする。

**2. 研究目的・方法**

腹腔鏡下およびロボット支援下幽門側胃切除（L/RDG）後のB-I再建におけるデルタ吻合は、金谷らにより開発された再建手技であり、安全かつ有用な再建方法として知られている。当院ではL/RDG後の再建方法はB-I再建-デルタ吻合（D）を第一選択としており、残胃が小さく再発の可能性が高い場合はR-Y再建（RY）、高齢でリスクが高い場合はB-II再建（BII）を選択している。今回我々は、当院におけるL/RDG後の再建方法に対して検討を行う。

研究実施期間：研究許可日から2028年3月まで

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

情報：病歴、内視鏡画像、術後病理検査、採血検査、CT検査等

試料：なし

**4. 試料・情報の公開**

研究を終了したときは、個人情報が出ないように加工したうえで、当該研究の結果を論文、学会にて発表する。

**5. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

埼玉県立がんセンター消化器外科 川上 英之

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地 TEL：048-722-1111（代表）

研究責任者：

埼玉県立がんセンター消化器外科 江原 一尚

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地 TEL：048-722-1111（代表）

-----以上